

事業所名

つみき第7

支援プログラム

作成日

R6年

11月

22日

法人（事業所）理念		「ゆっくりでも確実に、共に歩んでいく」視点を大切に、「ホッとできる場」であるよう心がけながら、個々の特性に応じた支援と余暇の充実をはかる。		
支援方針		利用者個々の発達特性を多面的にとらえ、中長期的な視点で無理のない計画をたて、個に応じた多様性のある支援を行う。		
営業時間		【平日】13:00～18:00 【学校休業日】12:00～18:00	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	公園遊び・散歩等、屋内外で健康的に身体を動かす。生活リズムの安定や自立した生活を送ることができるよう気を配る。		
	運動・感覚	学習時の姿勢・学用品の扱い方・運筆の加減や結びを含む教材のファイリング等が適切であるよう支援する。		
	認知・行動	集団生活の場であることを意識し、周囲の状況に合わせて場面ごとに適切な行動がとれるよう支援する。学習面では数の概念（算数）の理解を深める。		
	言語 コミュニケーション	言葉によるやりとりや会話の基本を積み重ね、きちんと挨拶を交わし、質問・意見等を適切に伝えられるよう支援する。学習面では言語の理解（国語）を深める。		
	人間関係 社会性	職員との信頼関係を築き、友達と友好的にかかわり合うことで、他者と和やかに交流するための基本的な姿勢を養う。		
家族支援	日々の申し送り・個別面談・保護者会等を通して、子育てに関する困りごとや兄弟との関係等、ざっくばらんに相談できるような関係性を築く。発作や体調の変化等に関して密に連絡を取り合う。	移行支援	卒後の進路も見据えて、地域で理解され生活していくことを念頭に、施設近隣で散歩・散策・買い物等を行う。必要に応じて卒後の利用施設との情報共有を行う。	
地域支援・地域連携	近隣で行われるお祭りやイベントに参加する等、近隣住民との交流をはかる。災害時の避難場所となるような施設・公園を日常的に利用し、地域の中で受け入れられ理解されることの促進をはかる。	職員の質の向上	外部講師を招くものも含めた各種研修の充実や、各種委員会を構成することにより、資質の向上に努める。	
主な行事等	遠足 運動会 保護者会 ファミリー・コンサート 周年行事			